

挑戦する大切さ訴え

磐田・豊田中 五輪パラ選手講演

東京五輪・パラリンピック競技大会組織員会が推進する教育プログラム実施校の認証を受けている磐田市豊田中学校で、北京パラリンピック男子マラソンに出場した市内在住の新野正仁さん(六〇)の講演会があった。

新野さんは二十歳の時に交通事故で失明し、マッサージ治療院を営みながら四十代でマラソンに挑戦した経験を振り返り、「自



分は強い人間ではないが、周囲の人たちに支えられた」と話した。東京パラリンピ

ック出場に向けて練習に励んでいることも話し、「みんなもさまざまなことに挑戦し

生徒に挑戦することの大切さと呼び掛ける新野正仁さん(右)と杉浦直さん(左) 磐田市豊田中学校で

てほしい」と呼び掛けた。

レースで新野さんの伴走を務める市体育協会の杉浦直さん(三六)も講演し、相手の立場に立って考えることの大切さを伝えた。

(夏目貴史)

